

首都圏自治体連合

Asociación de Municipidades del Área Metropolitana (AMUAM)

1. 組織概要

首都圏自治体連合 (AMUAM) は、1980 年 7 月に大統領令によって組織化され、首都圏の自治体間の調整に加え、これら地方自治体の様々な活動を支援することが主な任務であり、AMUAM を構成する 24 自治体の廃棄物処理業務をサポートすることも業務の一環であった。

2. 現状/歴史

1998 年に無償資金協力によって供与されたコンパクトトラック(ゴミ収集車)等の運営・管理のため、「首都圏廃棄物管理局 (AMMR) が組織され、供与機材等の運営・メンテナンスシステムが確立した。この組織は、AMUAM とは別の独立した組織であったが、2003 年、アスンシオン市のリエラ市長が AMUAM の議長に就任し、組織強化を図る目的で AMUAM 組織の再編成を行い、AMMR を AMUAM の 1 プログラムとして位置付けた。

その後、2008 年末には、地方自治体の税収制度の相違、サービス料率の算定基準の相違、規制等の不備など内的要因による金融危機の結果、AMUAM は倒産を宣言し、事務所をアスンシオン市役所の一オフィスに移し、閉鎖に伴う処理・処分を行った上で、2009 年に倒産した。

3. 過去の協力実績

3.1. アスンシオン首都圏廃棄物処理総合計画調査 (1994 年) - マスタープラン

調査期間: 1993 年 6 月～1994 年 8 月

内容: 厚生省環境衛生局 (SENASA) が廃棄物問題をシステムチックに改善するため、首都圏を構成するアスンシオン市他 14 自治体と連携して日本政府に要請された。調査は、2006 年を目標年次としたアスンシオン首都圏都市廃棄物処理事業を改善するための基本計画の策定、及び基本設計で選定された最優先プロジェクトのフィージビリティ調査の実施を目的として実施された。

協力金額: N/A

3.2. アスンシオン首都圏廃棄物処理機材整備計画 (無償資金協力)

交換公文署名日: 1998 年 4 月 27 日

内容: 供与機材 (施設・主要機材概要)

① 収集運搬用機材: コンパクトトラック (46 台)、ダンプトラック (3 台)、ホイールローダー (1 台)、モビルワークショップ (1 台)、ピックアップトラック (1 台)、スペアパーツ

② 最終処分場埋立用機材: ブルドーザー (3 台)、ダンプトラック (2 台)、バックホー (1 台)、散水車 (1 台)、ピックアップトラック (1 台)、スペアパーツ (1 台)

協力金額: 7 億 9900 万円

3.3. アスンシオン首都圏廃棄物管理事業運営改善計画プロジェクト (技術協力プロジェクト)

協力期間: 2008 年 8 月～2010 年 9 月

実施機関: 環境庁 (SEAM) 及びアスンシオン首都圏自治体連合 (AMUAM)

※プロジェクト実行ユニットが設置されていた AMUAM の倒産により、本案件の実施機関は国内の各自

自治体の組織強化を促す役割を果たす「パラグアイ自治体協同団体 (Organización Paraguaya de Cooperación Intermunicipal - OPACI)」がプロジェクトカウンターパートとして、活動を継続した。

内容: 1998年の無償資金協力によって供与された廃棄物収集・処理機材等により、廃棄物収集サービスの普及率は、アスンシオン市で88%、主要10都市で約70%に達した。しかし、サービス実施機関であるアスンシオン首都圏自治体連合 (AMUAM)には廃棄物管理のための内部留保が蓄積されず、運営資金の不足、契約管理体制等の未整備により、事業存続に支障をきたしていたことから、首都圏自治体の廃棄物管理行政能力の向上を目的とした技術協力プロジェクトを実施した。具体的には、協力対象自治体におけるステークホルダーの廃棄物管理に関する知識の向上を図るとともに、廃棄物管理担当部局の構築・強化と法制度の適正化推進に取り組んだ。

協力金額: 90,072 千円

4. 上記以外の協力

- 1) 個別専門家派遣(短期)首都圏廃棄物処理運営

派遣期間: 2000年8月4日～11月13日(3カ月)

- 2) 「廃棄物処理技術及び 3R」及び「循環型社会形成促進のための廃棄物管理」帰国研修員に対するフォローアップ協力(2011年度)